

2023年度新規事業のご紹介

【児童養護施設】（7月開設・柏市）

はぐくみの杜かしわ

2013年に君津市に開設した「はぐくみの杜君津」に続き、風の村2か所目の施設。6人のこどもが暮らす5つの「家」と管理棟で構成され、親と暮らすことが難しいこどもたち30人の生活の場です。家庭に近い環境は、君津の造りを踏襲したもの。リビングを中心に職員の作る食事を囲み、日常生活を送ります。虐待などの増加で児童相談所に保護されるこどもが増えているのを背景に、千葉県が新設する2つの施設のうちのひとつです。風の村では社会的養護の事業として、児童養護施設のほかに、乳児院と自立援助ホーム、アフターケア（自立後の支援）を運営。これらの実践をいかしてこどもたちの健やかな育ちを支援します。

榎本施設長からのメッセージ

はぐくみの杜かしわのスタッフは「遊び・食事作り・対話」を全力で取り組んでいます。ここで出会う子どもたちが健やかに、その子らしく暮らせるようスタッフ一丸となって育んでいきたいと思っております。



【認知症対応型通所介護】

デイサービスセンターKirari（7月開設）

アクティビティや静かに過ごすための個室も備えた、地域にはまだ少ない、認知症の方が利用できるデイサービスです。認知症高齢者の増加と認知症の方に対する専門的なケアの提供を目的に、既存のデイサービスを事業転換します。風の村いなげ以外にも同区内の風の村作草部で、在宅・通い・泊り・入居の多様な介護や障がいの事業を行っており、連携して質の高いケアを行っていきます。

外口施設長からのメッセージ

風の村いなげでは、認知症があっても自宅で長く暮らすことができるようご本人とご家族の支援を目指しています。デイサービスセンターKirariでは「キラリ」と光る一面を引き出せる専門的な関わりと環境を用意しました。重症心身障害児者支援も1人ひとりの個性を大切にしながら悠翔会や風の村作草部と連携していきたいと思っております。



【放課後等デイサービス*児童発達支援*生活介護】

あかとんぼ稲毛（8月開設）“障がい児・者のための機能が充実！”

風の村いなげと風の村作草部には障がいのあるお子さんの放課後の居場所である放課後等デイサービス「あかとんぼ」があります。風の村いなげでは、就学前のお子さんが日常生活の訓練をしたり集団での生活に慣れるための「児童発達支援」、重症心身障害者が日中生活する「生活介護」を併設した多機能型となります。これにより、これまであかとんぼを利用していた方が卒業後も過ごす場ができ、地域に少ない重度の障がいがある方の支援も充実します。いなげビレッジは、緑豊かな公園が隣接し、多様な地域の人々が入り交じる複合拠点でもあります。敷地内にある「悠翔会在宅クリニック稲毛」との医療連携ができることも強みです。

生活クラブ風の村のこれから ~風の村の3つの理念に基づき、3年間かけてチャレンジしたいこと(第6次中期計画2023年~2025年)と2023年度事業計画~

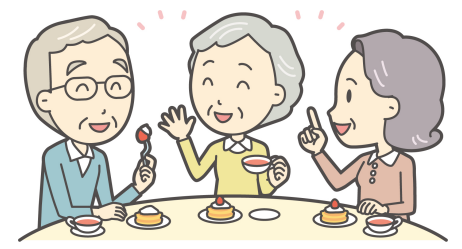
【理念1】 一人ひとりの個性と尊厳を尊重し質の高い支援を実現、早期に経営状態の改善と安定化をめざします。

1. 利用者の生活全般に寄り添い、統一指針のもと分野横断のケアを行います。「アウトカム評価」により統一した成果の可視化を行い、ケアの充実と見直しにつなげます。
2. 2024年度改正介護保険制度や各種制度、報酬改定に対応し、支援の充実につながる加算の取得を積極的に行います。
3. アメーバ経営（全員参加型組織運営）をすすめ経営改善につなげます。
4. 広報と営業活動を通じ、地域の信頼を得て、ニーズを見逃さず利用者確保につなげます。
5. 原則的に新規事業は行わず、既存事業の状況と将来性を踏まえた対策を実行します。
6. 適正な事業所運営、持続性、省エネなどの観点から、全体的に経費の使い方を見直します。ICTの導入を推進とDXを推進し経営に貢献します。
7. 将来にわたって安定的な人材を確保するための多方面からの採用強化と、待遇改善を行います。風の村で働き続けることへの魅力を感じられるよう、各種研修や職員間の交流、人材育成を充実させます。



【理念2】 孤独・孤立の防止、社会参加の推進を通じて地域共生社会の実現をめざします。

1. 安心システムと街の縁側の推進を通じて、安心して暮らせる地域社会と住民参加のしくみを作ります。安心ケアシステムは「生活クラブ10の基本ケア」を指針とし内実を高め、安心支援システムは、各拠点の推進会議を中心に、コロナ禍で孤立を深める人々への支援や、住民同士のささえあう関係性作りを通じ、地域の活性化につなげます。
2. こども・若者が安心して成長できる地域社会づくりに貢献します。
3. 支援の行き届きにくい精神疾患を持つ方への支援に取り組みます。
4. 地域共生社会推進室により、ソーシャルアクションを推進します。
5. SDGs委員会を中心に持続可能な地域社会づくりにつながる活動を実践します。



【理念3】 働きがいのある環境と、ライフスタイルに応じた働きやすい職場を作ります。

1. コミュニケーションを重視し、多様な働き方を理解し、働き続けられる職場を作ります。職場への魅力や働きがいを感じ、仕事を通じた成長と存在意義を実感できる職場運営を行います。自らの職場の適切な運営のために、意見や提案のしやすい環境づくりや合意形成を行います。
2. 職員が自信と向上心を持つことができる人材配置、充実した研修、全員参加型の職場運営を行います。
3. 感染症対策や有事への備えを整備し、職員の安心安全と、事業継続を通じた利用者支援を行います。
4. 組織の在り方、働きがいのある職場作りと安定した事業継続のための組織の在り方を検討し、実践します。

